



公益社団法人SVリーグ

**Q. SV.LEAGUE および SV.LEAGUE GROWTH に参画しないクラブについて、今後についての発表は**

- SV.LEAGUE GROWTH にライセンス申請を行っているクラブについては、今後審査を経て 2026 年 3・4 月に結果を発表する。また、新社会人リーグ(仮)については 2026 年 3 月を目途に JVA から発表がある予定と聞いています。

**【SVL 補足】**

現在 V.LEAGUE に所属するクラブの中にはプロ志向・アマチュア志向のクラブが混在していることから、今後のあるべき姿について実行委員会や理事会等を通じて議論を重ねてきた。

今回の JVL 実行委員会(JVL クラブの代表者が出席)での議論を経た JVL 理事会での決定を受け、現 V.LEAGUE クラブは今後、プロ志向の SV.LEAGUE GROWTH を目指すクラブと、アマチュア志向の新社会人リーグ(仮)に参加するクラブとに分かれることになる。

将来的な SV.LEAGUE 参入を目指すクラブは SV.LEAGUE GROWTH へのライセンス申請を行っており、今後の審査を経て正式な参加クラブを決定する。

アマチュア志向のクラブ並びに将来的にはプロを志向したいものの現時点ですぐには難しいクラブについては、JVA にて検討されている新社会人リーグ(仮)への参戦を検討されることになる。

後者のクラブについては、まずは SV.LEAGUE GROWTH への準加盟を目指していただきつつ、SV リーグとしてもライセンス事務局を中心にできる限りサポートを行っていく。

**Q. V.LEAGUE という名前は今後残るのか**

- 今後、JVA で協議して決定される。

**Q.JVA で新設されるというリーグについて日本実業団バレーボール連盟、日本クラブバレーボール連盟との協同過程や、現在の参加応募状況について**

- JVA にて協議・検討されており、SVL の立場からお伝えできることはない。

**Q. 来季以降オンコートが外国籍選手 3 名になることで、日本人選手の出場選手機会が減ることについて。海外では B チームや U21 チームなどを保有し、トップチームと行き来をしている例もあるが、SV.LEAGUE および SV.LEAGUE GROWTH ではあり得るか**

- 現状、海外に比べロスター枠が多いクラブもあり、出場機会が限定的になることが多い。B チームや U21 チームの保有に関しては今後の検討課題。短期レンタルの制度をより充実させるということも大事だと考えている。

**Q. U18 と全国高等学校体育連盟(以下・高体連)との両立について**

- JVA、高体連のバレーボール専門部とこれから内容を詰めていく段階。私立を中心にバレーボールが強いことを経営の核にしている高等学校もあるため、慎重に丁寧に協議を進める。

以上